

第2回貿易分野データ連携ワーキンググループ

(第3回トレードファイナンスタスクフォース合同開催)

検討資料

今年度事業の実施結果報告 及び審議事項

2023年3月17日

経済産業省 貿易経済協力局

貿易振興課・通商金融課

目次

1. 本事業の目的及び主な検討事項	3
2. 主要な貿易文書と国際標準のマッピング結果（報告）	6
3. 国際標準に基づくデータ連携を促進するしくみの検討（審議）	15
4. 貿易文書デジタル化による効果試算調査結果（報告）	16
5. 貿易文書のデジタル化促進に向けた今後の施策案の検討（審議）	17

1. 本事業の目的及び主な検討事項

本事業の目的 ※キックオフ資料の再掲に一部追記

- 本事業では、令和3年度の「アクションプラン」において掲げた短期目標のうち、「データ連携性の向上」を目指し、施策として掲げた「データ標準仕様の横断的な利用環境の整備」とその「管理・普及推進体制の構築」を実現することを目的とする。

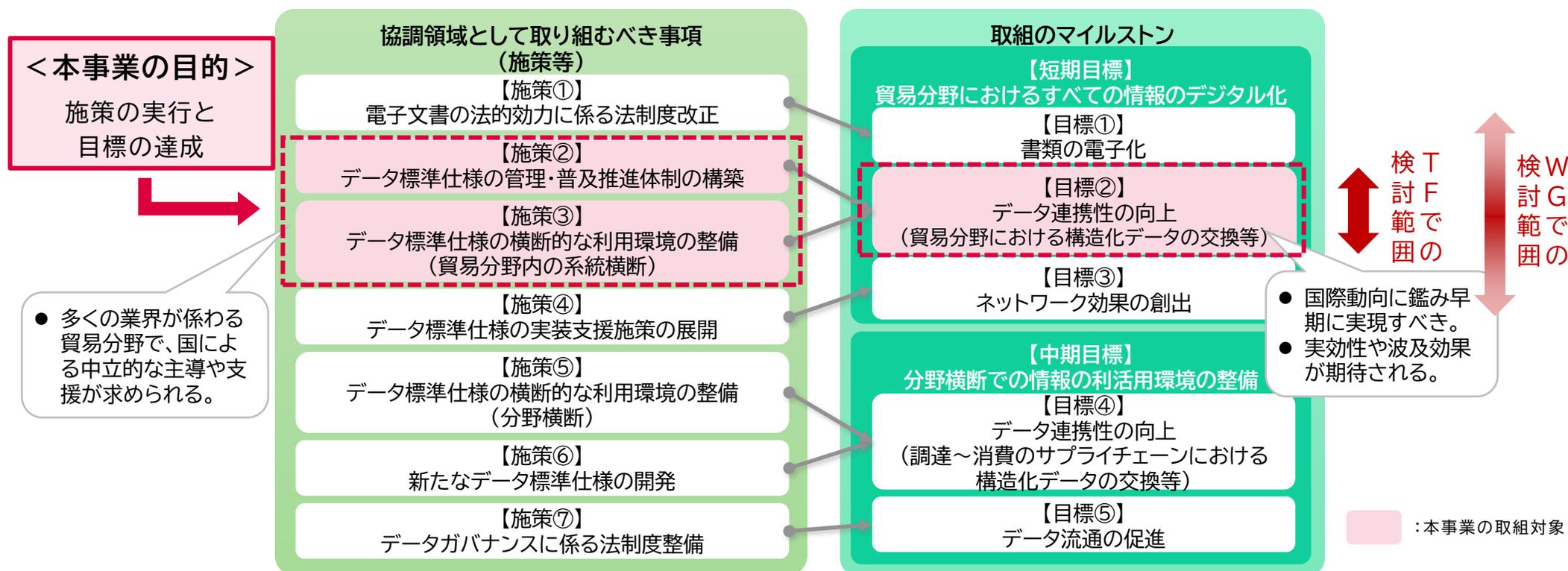


図 「アクションプラン」(令和3年度)における、協調領域として取り組むべき「施策」と「目標」

本事業における主な検討事項 ※キックオフ資料の再掲に一部追記

- 貿易関連データの連携性向上において有用とされる「国際標準」データ仕様の実用性を検証するとともに、その活用を促進するしくみの在り方を検討する。

赤文字: 本日の議題

本事業における検討事項

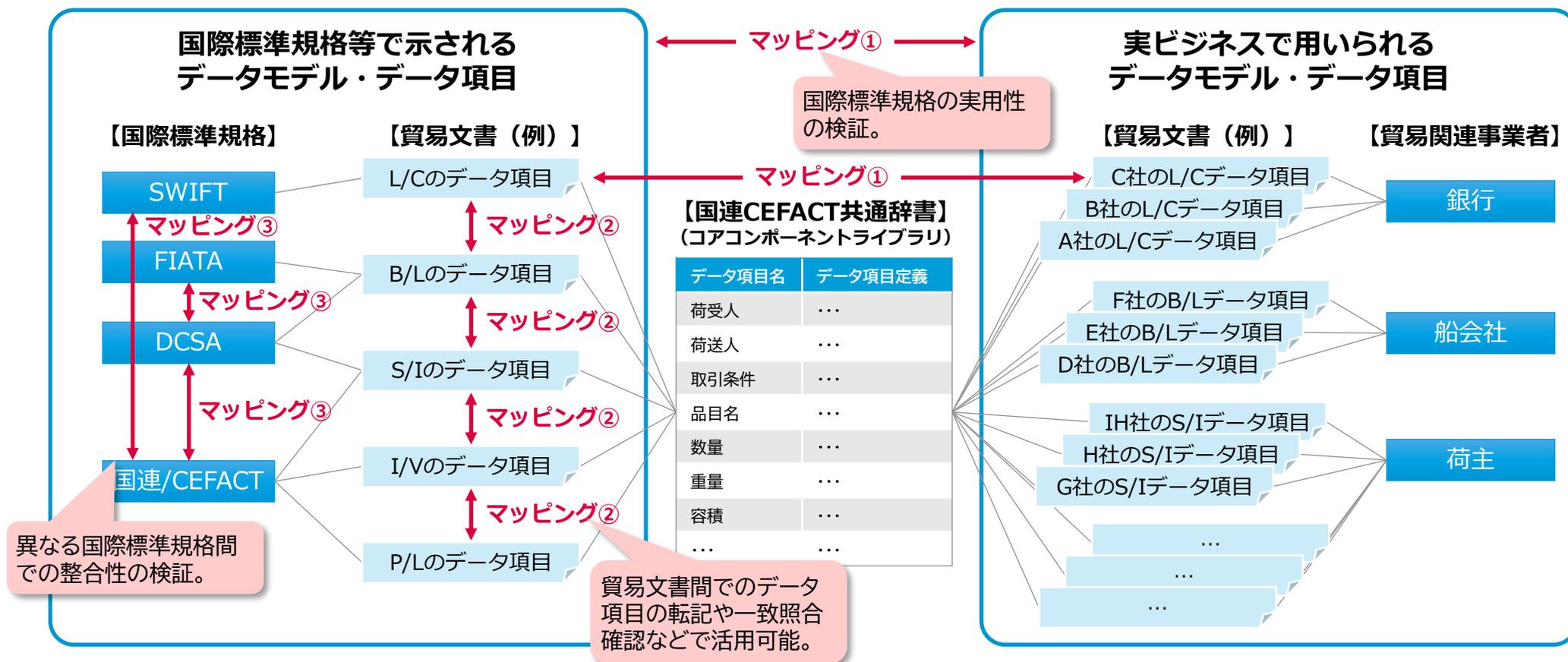
詳細

【施策③】	1) 国際標準の有用性、導入効果の検証、評価	<ul style="list-style-type: none"> ● 主要な貿易文書(L/C及びこれに関連する3文書程度)について、実業務と国際標準のデータ変換を行えることを確認する。 ➡ 2. 主要な貿易文書と国際標準のマッピング結果(報告) ● 国際標準準拠のデータ連携用インタフェースを活用した貿易文書のデジタル化による実業務上の効果を確認する。 ➡ 3. 貿易文書デジタル化による効果試算調査結果(報告)
【施策②】 【施策③】	2) 国際標準に基づくデータ連携を促進するしくみ(ツール、ルール、組織等)の検討	<ul style="list-style-type: none"> ● 貿易文書等の国際標準に基づくデータ連携を促進するしくみ(データ項目のセマンティクス定義及びシンタックス定義、認証方法のルール、これらの情報公開用のポータルサイト(レジストリ)等のツール、その管理・運用組織や継続的な検討会議体等)の在り方を官民で協議し取りまとめる。 ➡ 4. 国際標準に基づくデータ連携を促進するしくみの検討(審議)
【施策②】	3) 国際標準の有用性、利用方法等の周知	<ul style="list-style-type: none"> ● 国際標準によるデータ連携性向上の検証・評価結果、及び、仕組みとその管理・運用組織等の構想案等について、ウェビナーを開催し、国内事業者向けに広く周知する。
-	4) 貿易関連データのデジタル化促進に向けた今後の施策等の検討	<ul style="list-style-type: none"> ● データの国際標準化に加え、海外とのデータ連携時の相互認証やデータ共有等に係る技術仕様や法制度・ルール等についても、国際動向や国内の取組進捗を踏まえて取り組むべき事項を整理し、今後の我が国における貿易関連データのデジタル化促進に向けた施策等を検討する。 ➡ 5. 貿易文書のデジタル化促進に向けた今後の施策案の検討(審議)

2. 主要な貿易文書と国際標準のマッピング結果（報告）

マッピング確認作業の概要

- マッピング対象①：同一の貿易文書における「国際標準規格等で示されるデータ項目」と「実ビジネスで用いられる各社のデータモデル・データ項目」
- マッピング対象②：異なる貿易文書間のデータ項目
- マッピング対象③：同一の貿易文書における異なる国際標準規格間のデータ項目



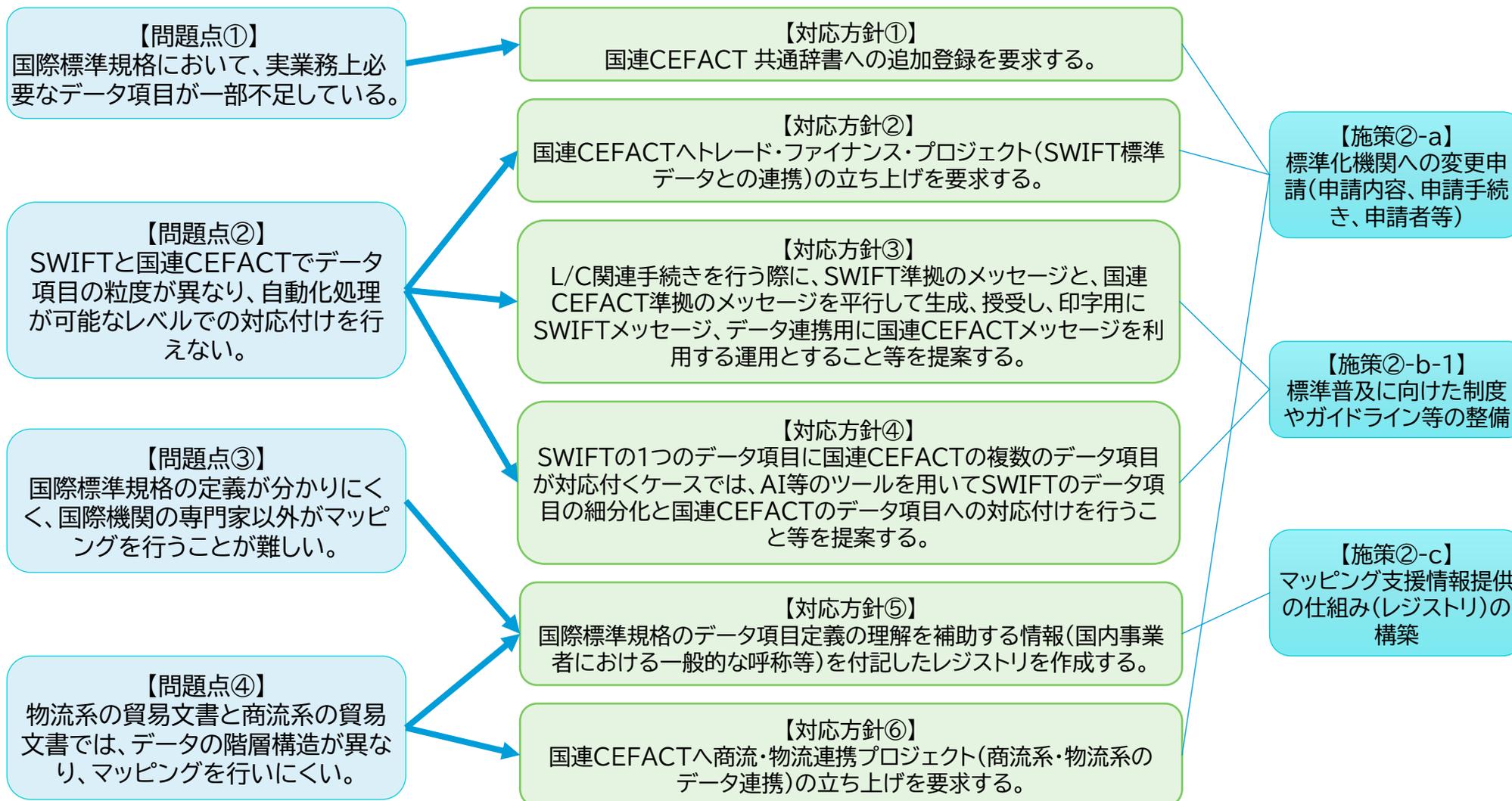
マッピング確認結果のまとめ

マッピングにより明らかになった問題点と対応方針、施策

【マッピングにより明らかになった問題点】

【対応方針】

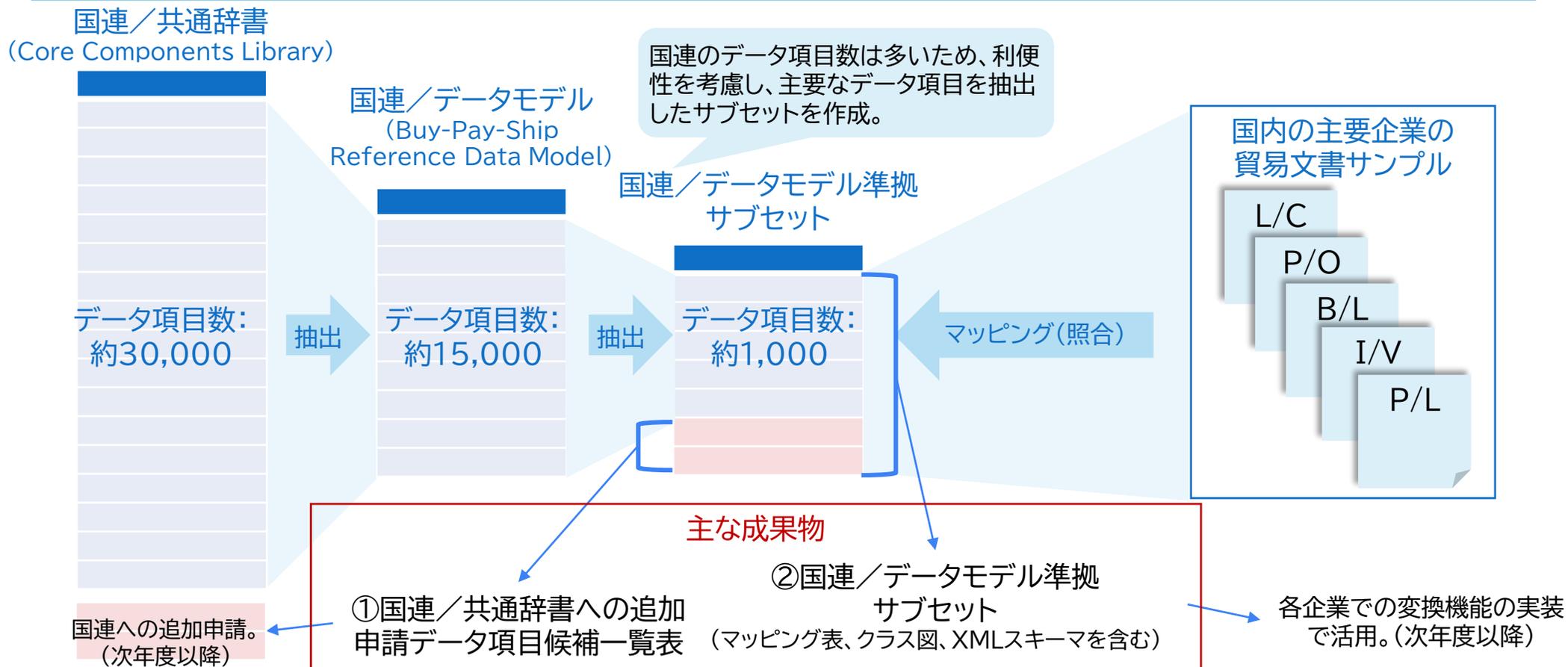
【施策】



マッピング作業の主な成果物

マッピング作業の主な成果物の概要

- 国内主要企業の貿易文書サンプルに基づく主要なデータ項目を、国連／共通辞書及び国連／データモデルから抽出した「サブセット」（仮称）と、そのクラス図及びXMLスキーマを作成。
- 主要なデータ項目のうち国連／共通辞書に定義のないデータ項目については、今後に国連へ追加申請すべく、追加データ項目の候補一覧表を作成。



マッピング作業の主な成果物

① 国連CEFACT共通辞書への追加データ項目候補一覧表のサンプル（L/Cの一部抜粋）

- 実業務で利用しているデータ項目を国連／共通辞書へ追加登録することで、国際標準の実用性が向上し、業界内での利用の普及拡大につながる。

仮ID	データ項目名	国連CEFACT共通辞書データ名	データ項目定義
JPS9900041	譲渡可能指示子	Exchanged_Document_Transferable_Indicator	譲渡可能か否かのインジケータ。
JPS9900042	信用状／提示場所アソシエーション	Exchanged_Document_Presentation_Logistics_Location	LCの提示場所を示す関連定義。
JPS9900043	信用状クラス	Trade_Finance_Documentary_Credit_Details	貿易金融プロセスにおける信用状情報。
JPS9900044	BICコード	Documentary_Credit_Financial_Institution_BIC_Identifier	BIC(Bank Identifier Code:銀行識別)コード。
JPS9900045	信用状／申請銀行アソシエーション	Trade_Finance_Documentary_Credit_Applicant_Bank_Documentary_Credit_Financial_Institution	貿易金融信用状の申請銀行を示す関連定義。
JPS9900046	申請銀行クラス	Documentary_Credit_Financial_Institution_Details	申請銀行情報。
JPS9900047	申請銀行ID	Documentary_Credit_Financial_Institution_Identification_Identifier	申請銀行の識別番号。
JPS9900048	銀行LEIコード	Documentary_Credit_Financial_Institution_LEI_Identification_Identifier	信用状に関係する銀行のLEIコード(取引主体識別子)。
JPS9900049	申請銀行名	Documentary_Credit_Financial_Institution_Name_Text	申請銀行の名称。
JPS9900050	申請銀行支店名	Documentary_Credit_Financial_Institution_Branch_Name_Text	申請銀行支店の名称。
JPS9900051	信用状銀行／国アソシエーション	Documentary_Credit_Financial_Institution_Residence_Trade_Country	信用状に関わる銀行がある国を示す関連定義。
JPS9900052	信用状銀行／連絡先アソシエーション	Documentary_Credit_Financial_Institution_Specified_Trade_Contact	信用状に関わる銀行の連絡先を示す関連定義。
JPS9900053	信用状銀行／住所アソシエーション	Documentary_Credit_Financial_Institution_Postal_Trade_Address	信用状に関わる銀行の住所を示す関連定義。
JPS9900054	信用状／保証銀行アソシエーション	Trade_Finance_Documentary_Credit_Reimbursing_Bank_Documentary_Credit_Financial_Institution	貿易金融における信用状保障銀行を示す関連定義。
JPS9900055	信用状／通知銀行アソシエーション	Trade_Finance_Documentary_Credit_Advice_Through_Bank_Documentary_Credit_Financial_Institution	貿易金融における信用状通知銀行を示す関連定義。
JPS9900056	信用状／申請当事者アソシエーション	Trade_Finance_Documentary_Credit_Applicant_Trade_Party	貿易金融信用状の申請者を示す関連定義。
JPS9900057	LEI ID	Trade_Party_LEI_Identification_Identifier	LEI(取引主体識別子)を識別するID。
JPS9900058	信用状／受益当事者アソシエーション	Trade_Finance_Documentary_Credit_Beneficiary_Trade_Party	貿易金融における信用状受益者を示す関連定義。
JPS9900059	信用状／確認当事者アソシエーション	Trade_Finance_Documentary_Credit_Confirmation_Trade_Party	貿易金融における信用状確認者を示す関連定義。
JPS9900060	信用状／信用状機能アソシエーション	Trade_Finance_Documentary_Credit_Applicable_Documentary_Credit_Business_Function	貿易金融における信用状の機能を示す関連定義。

マッピング作業の主な成果物

② 国際CEFACT準拠サブセットのクラス（データ項目の構造化情報）のサンプル（L/Cの一部抜粋）

- データ項目にクラス（構造化情報）を持たせることで、自動処理に適したデータ交換が可能となる。

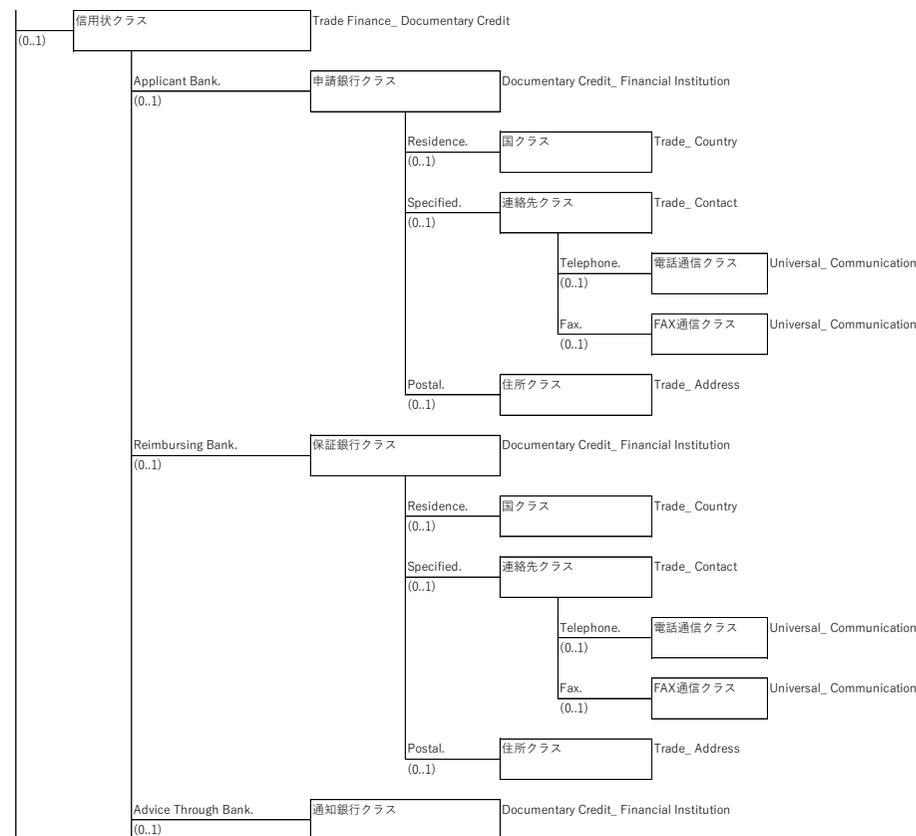
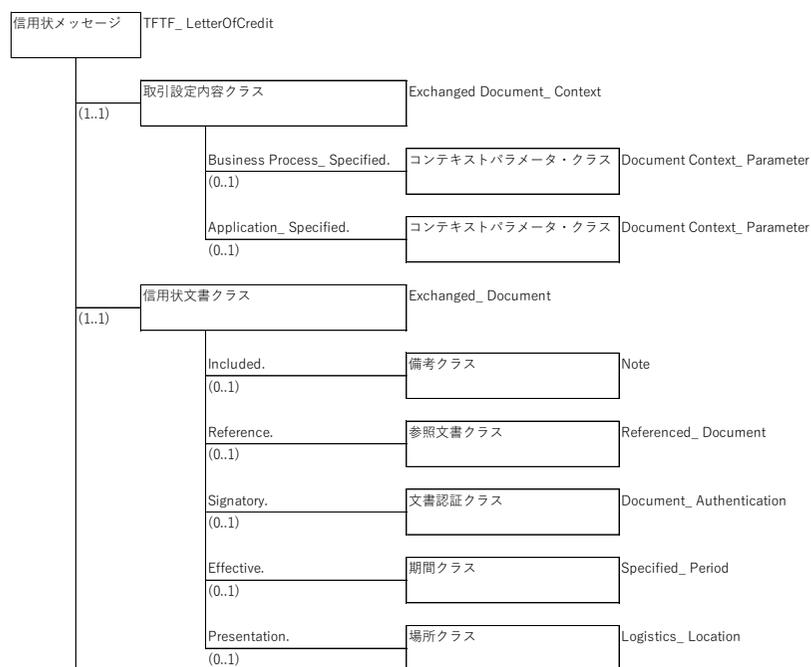


図 L/Cのクラス(Excel)のサンプル(一部抜粋)

⋮

2. 主要な貿易文書と国際標準のマッピング結果（報告）

② 国連／データモデル準拠サブセットとXMLスキーマ

② 国際CEFACT準拠サブセット「データ項目一覧」のサンプル（L/Cの一部抜粋）

行番号	ヘッダ/ 明細	国連CEFACT BIE辞書ID番号	項目種	DEN (Dictionary Entry Name)		項目名	項目定義	繰返し	
1	ヘッダ部		MA	TFTF_ LetterOfCredit		信用状メッセージ		-	
2	ヘッダ部	UN01003540	ASMA	Exchanged Document_ Context. Details		取引設定内容クラス	メッセージの設定内容に関する情報からなるクラス	1..1	
3	ヘッダ部	UN01003541	BBIE	Exchanged Document_ Context. Specified_ Transaction. Identifier		取引識別子	メッセージがやり取りされる取引番号	0..1	
4	ヘッダ部	UN01003542	ASBIE	Exchanged Document_ Context. Business Process_ Specified. Document Context		ビジネスプロセス/パラメータ		0..1	
5	ヘッダ部	UN010048	41	ヘッダ部	JPS9900042	ASBIE	Exchanged_ Document. Presentation. Logistics_ Location	信用状/提示場所アソシエーション	0..1
6	ヘッダ部	UN010048	42	ヘッダ部	UN01003679	ABIE	Logistics_ Location. Details	場所クラス	-
7	ヘッダ部	UN010035	43	ヘッダ部	UN01003681	BBIE	Logistics_ Location. Name. Text	場所名	0..1
8	ヘッダ部	UN010048	44	ヘッダ部	JPS9900043	ASMA	Trade Finance_ Documentary Credit. Details	信用状クラス	0..1
9	ヘッダ部	UN010048	45	ヘッダ部	JPS9900045	ASBIE	Trade Finance_ Documentary Credit. Applicant Bank. Documentary Credit_ Financial Institution	信用状/申請銀行アソシエーション	0..1
10	ヘッダ部	UN010024	46	ヘッダ部	JPS9900046	ABIE	Documentary Credit_ Financial Institution. Details	申請銀行クラス	-
11	ヘッダ部	UN010024	47	ヘッダ部	JPS9900044	BBIE	Documentary Credit_ Financial Institution. BIC. Identifier	BIC (Bank Identifier Code) コード	0..1
12	ヘッダ部	UN010024	48	ヘッダ部	JPS9900047	BBIE	Documentary Credit_ Financial Institution. Identification. Identifier	申請銀行ID	0..1
13	ヘッダ部	UN010024	49	ヘッダ部	JPS9900048	BBIE	Documentary Credit_ Financial Institution. LEI_ Identification. Identifier	LEI (取引主体識別子) ID	0..1
14	ヘッダ部	UN010024	50	ヘッダ部	JPS9900049	BBIE	Documentary Credit_ Financial Institution. Name. Text	申請銀行名	0..1
15	ヘッダ部	UN010024	51	ヘッダ部	JPS9900050	BBIE	Documentary Credit_ Financial Institution. Branch_ Name. Text	申請銀行支店名	0..1
16	ヘッダ部	UN010035	52	ヘッダ部	JPS9900051	ASBIE	Documentary Credit_ Financial Institution. Residence. Trade_ Country	信用状銀行/国アソシエーション	0..1
17	ヘッダ部	UN010035	53	ヘッダ部	UN01002552	ABIE	Trade_ Country. Details	国クラス	-
18	ヘッダ部	UN010035	54	ヘッダ部	UN01002553	BBIE	Trade_ Country. Identification. Identifier	国ID	0..1
19	ヘッダ部	UN010035	55	ヘッダ部	UN01002554	BBIE	Trade_ Country. Name. Text	国名	0..1
20	ヘッダ部	UN010035	56	ヘッダ部	JPS9900052	ASBIE	Documentary Credit_ Financial Institution. Specified. Trade_ Contact	信用状銀行/連絡先アソシエーション	0..1
			57	ヘッダ部	UN01001640	ABIE	Trade_ Contact. Details	連絡先クラス	-
			58	ヘッダ部	UN01001642	BBIE	Trade_ Contact. Person Name. Text	連絡担当者名	0..1
			59	ヘッダ部	UN01004564	ASBIE	Trade_ Contact. Telephone. Universal_ Communication	連絡先/電話通信アソシエーション	0..1
			60	ヘッダ部	UN01001252	ABIE	Universal_ Communication. Details	電話通信クラス	-
			61	ヘッダ部	UN01001256	BBIE	Universal_ Communication. Complete Number. Text	電話番号	0..1

⋮

図 L/Cのクラス(Excel)のサンプル(一部抜粋)

(注)色付きの行はクラス、白地の行はデータ項目を表す。

(注2)BIE(Business Information Entity)は業務データ項目を指す。

マッピング作業の主な成果物

＜参考＞XMLスキーマの活用方法

- XMLスキーマとは：データ項目の定義をXML形式で記述したもの。
- XMLスキーマの活用効果：XMLスキーマを活用することで、XML形式で記述された貿易文書（国連CEFACT準拠）を社内システムDBに変換する処理の自動化を実装し易くなる。
- 主な利用対象者：連携用IFの実装者

【取引先からデジタル貿易文書を受信する手順】

※「取引先からデジタル貿易文書を受信する手順」は、右から左への手順となる。

取引先



- ・ クラス名
- ・ 国連共通辞書ID
- ・ データ項目名
- ・ 値

XMLスキーマ(注1)
(貿易文書のデータ項目定義)

- ・ クラス名
- ・ 国連共通辞書ID
- ・ データ項目名
- ・ データ型



(注1)貿易PFのうち、特に最近のPFではデータ連携用IFをAPI(JSON)で実装することが主流となっているが、国連CEFACTではAPIは開発中であり提供されていない。現時点では、国連CEFACTはebXMLを推奨しており、かつ従来からある貿易PFではebXMLを含めて複数の国際標準規格に準拠したデータ連携用IFを提供しているものが多いことから、今回はebXMLの形で連携用IFを作成している。

国連定義と社内DB定義間のデータ項目名のマッピング
※事前に設定しておくことで、受信の都度自動変換される。

マッピング作業の主な成果物

＜参考＞XMLファイルのサンプル

- 国際標準準拠のXML形式では、クラス（データ項目の構造化情報）を含めて貿易文書上のデータを伝達することができる。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<!-- Instance data specified manually: 2023/01/24 -->
-<TFTFLetterOfCredit xmlns="urn:un:unece:uncefact:3055:413:data:draft:TFTF:0">
  -<ExchangedDocumentContext>
    <SpecifiedTransactionID>JISSHOU001</SpecifiedTransactionID>
  </ExchangedDocumentContext>
  -<ExchangedDocument>
    <ID>SIPS-2022-LC001</ID>
    <TypeCode CodeListID="1001" CodeListAgencyID="6">460</TypeCode> <!-- Documentary Credit -->
    <SubmissionDateTime>
      <DateTime>2022-12-10</DateTime>
    </SubmissionDateTime>
    <SenderAssignedID>MRI01LC001</SenderAssignedID>
    <SubtypeCode CodeListID="SBT" CodeListAgencyID="413">JEC01</SubtypeCode>
    <!-- AgencyID=413: JEC(国連CEFACT Japan Committee) --> <!-- JEC01=Irrevocable Document -->
    <TransfearableIndicator FormatText="textual">NO</TransfearableIndicator>
    -<IncludedNote>
      <Content>FULL CABLE WITHOUT MAIL CONFIRMATION</Content>
    </IncludedNote>
    -<EffectiveSpecifiedPeriod>
      <DurationMeasure UnitCode="DAY">15</DurationMeasure>
      <EndDateTime>2022-12-31</EndDateTime>
    </EffectiveSpecifiedPeriod>
  </ExchangedDocument>
  ...
```

```
...
<TradeFinanceDocumentaryCredit>
  -<ApplicantBankDocumentaryCreditFinancialInstitution>
    <Name>JASTPRO BANKING CORP.</Name>
  </ApplicantBankDocumentaryCreditFinancialInstitution>
  -<AdviceThroughBankDocumentaryCreditFinancialInstitution>
    <Name>ABC BANK</Name>
    <BranchName>ABC BRANCH</BranchName>
  </AdviceThroughBankDocumentaryCreditFinancialInstitution>
  -<ApplicantTradeParty>
    <Name>SIPS COORPORATION</Name>
  </ApplicantTradeParty>
  -<PostalTradeAddree>
    <LineOne>24 KING WILLIAMS STREET, LONDON EC4R 9AJ UNITED KINGDOM</LineOne>
  </PostalTradeAddree>
  -<BeneficiaryTradeParty>
    <Name>MRI TRADE.,LTD</Name>
  </BeneficiaryTradeParty>
  -<PostalTradeAddree>
    <LineOne>2-11 NAGATA-CHO, CHIYODA-KU, TOKYO, JAPAN</LineOne>
  </PostalTradeAddree>
  -<RequiredDocument>
    <TypeCode CodeListID="1001" CodeListAgencyID="6">380</TypeCode> <!-- Commercial Invoice -->
    <ID>MRI-2022-IV001</ID>
  </RequiredDocument>
  ...
```

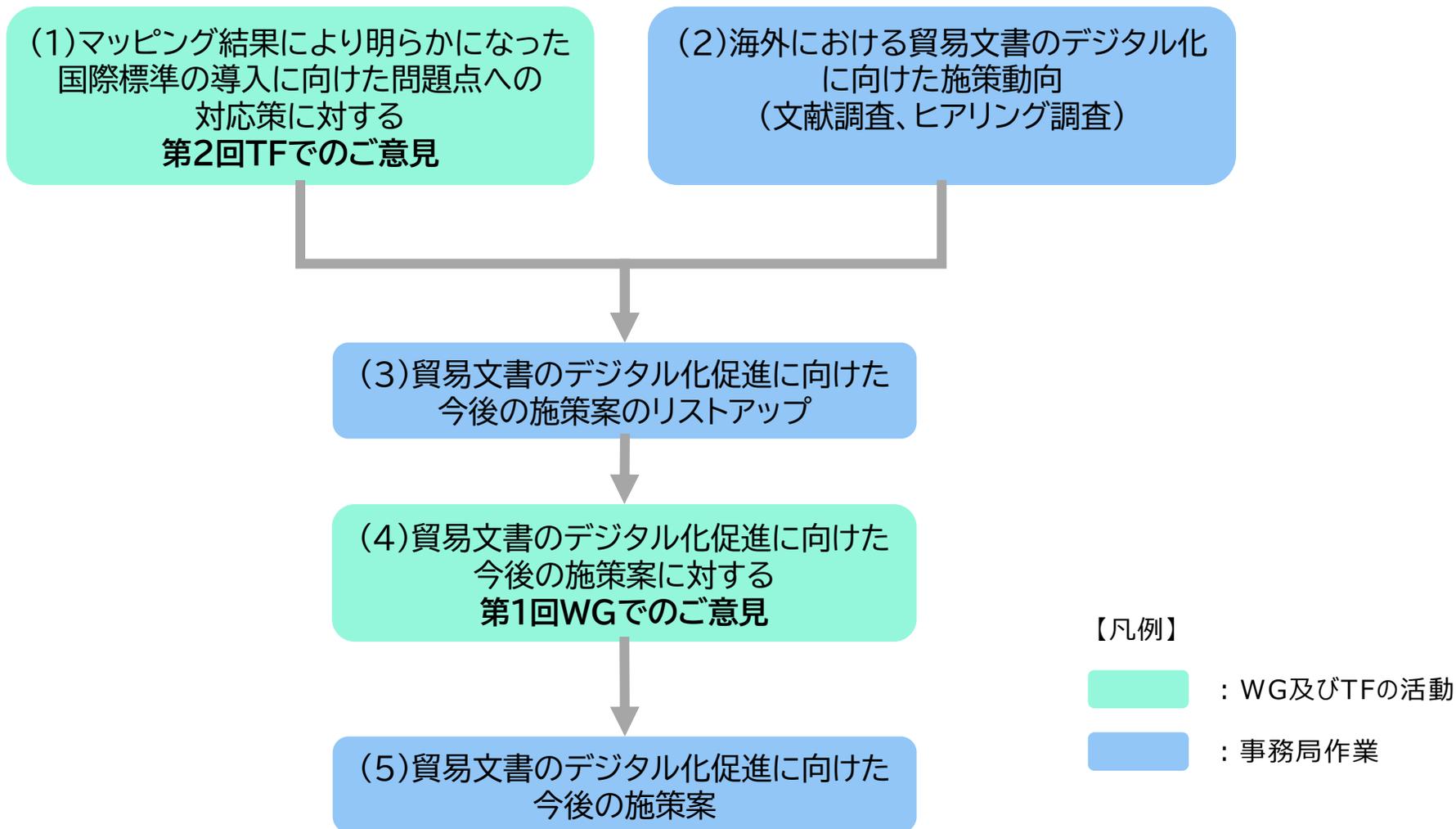
3. 貿易文書デジタル化による効果試算調査結果 (報告)

4. 国際標準に基づくデータ連携を促進するしくみの検討（審議）

5. 貿易文書のデジタル化促進に向けた今後の施策案の検討（審議）

貿易文書のデジタル化促進に向けた今後の施策案の検討手順

- 国際標準の導入に向けた問題点の対応策への「第2回TFでのご意見」、並びに、「海外施策動向の調査結果」を踏まえて、リストアップした「今後の施策案」に対して、「第1回WGでのご意見」を反映した。



我が国の貿易デジタル化に向けた今後の施策案

	【目標①】書類の電子化	【目標②】データ連携性の向上	【目標③】ネットワーク効果の創出
a. ルールの統一化（国際）	<ul style="list-style-type: none"> 施策①-a 貿易相手国とのデジタル貿易文書の相互運用性の促進 	<ul style="list-style-type: none"> 施策②-a 実業務に即した国際標準化や、業務横断で利用可能な国際標準化のための、国際標準化機関への変更申請 	
b. ルールの統一化（国内）	<ul style="list-style-type: none"> 施策①-b 電子譲渡可能記録に関するUNCITRALモデル法（MLETR）に対応した国内法の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 施策②-b-1 国際標準準拠のデジタル貿易文書の導入のためのガイドライン等の整備 施策②-b-2 ガイドライン等の実用性検証のためのパイロット事業 施策②-b-3 国際連携を考慮した体系的なデジタル化戦略 施策②-b-4 貿易デジタル化のための国家戦略を提案するための民間セクターの設置 	<ul style="list-style-type: none"> 施策③-b 貿易文書の国際標準準拠のための法制度やガイドライン等の整備
c. 利用環境の整備（ソフト面）	<ul style="list-style-type: none"> 施策①-c その他の関連法制度（電子帳簿保存法、電子署名法等）の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 施策②-c 国際標準データ項目とのマッピングに係る支援情報の提供の仕組み（レジストリ）の構築 	<ul style="list-style-type: none"> 施策③-c-1 貿易文書に関連する既存のデジタルデータ等の活用促進 施策③-c-2 貿易業務における実用ニーズに関する革新的なソリューションを提供するスタートアップ企業への支援
d. 利用環境の整備（ハード面）	<ul style="list-style-type: none"> 施策①-d 信頼性（認証、文書の原本性等）を担保する貿易データ流通インフラの整備 	<ul style="list-style-type: none"> 施策②-d 相互運用性を担保する貿易データ流通インフラの整備 	<ul style="list-style-type: none"> 施策③-d エコシステムの価値創造を促す中立的な貿易データ流通インフラの整備
e. 利用の促進（自発的）	<ul style="list-style-type: none"> 施策①-e-1 貿易相手国とのデジタル貿易文書の相互運用の議論を行うための民間セクターとの協議の場の設置 施策①-e-2 eBLのパイロット事業 	<ul style="list-style-type: none"> 施策②-e 国際標準準拠のデジタル貿易文書の導入に向けた実装トレーニングの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 施策③-e-1 中立的なインフラ、プラットフォームサービス、社内システム間で連携用IFを実装する民間事業者に対する推進支援策 施策③-e-4 貿易文書の国際標準化に向けた実装トレーニング 施策③-e-5 国際標準に準拠したデジタル貿易文書の有用性検証に係る実証実験
f. 利用の促進（強制的）		<ul style="list-style-type: none"> 施策②-f 貿易文書の国際標準準拠の規制化 	